



大宮小&済美小&大宮中 夢のタスキを9年間つなぎます！

なでしこ

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより
令和4年1月31日 第9号(19-62)

発行責任者：校長 関田 誠

『大宮中精神：優しさをもって、夢や目標に挑戦する若者であれ！』

1/10 始業式式辞 『今年の漢字は「〇」に思いを込めて！』の話 ～『挑』み続ける！変わる自分を楽しもう！～

みなさん、明けましておめでとうございます。正月気分は抜けましたか？三学期はどういう意味がありますか？よく言われる事として、3年生は勝負の三学期。そして3年間の総まとめ、義務教育最後の三学期。1・2年生は1年間の総まとめとしての三学期、それから次年度への準備として『ゼロ学期』とも言われます。皆さんそれぞれが、年頭の想いを温めながら、今日からの三学期をスタートしてください。

さて、今年の年頭の想いを深めるために、年始めの始業式にあたり、今朝は『今年令和五年、2023年の漢字』を発表します。ん？ちょっと待って、と思いませんか？今年の漢字は、毎年12月その年の暮れに、一年間を象徴する出来事を漢字一文字に表す、京都の清水寺の年中行事です。ちなみに昨年の漢字は知っていますね。そうです。『戦（いくさ）』でした。では、今年の漢字を何で今考えるのか？という話です。今なんです。年頭の今、漢字一文字に『このようにありたいという大宮中への願いを込める』のです。そして暮れに「やっぱり今年の大宮中の漢字はこれだったね」で締めてみませんか？

皆さんなら何の漢字を浮かべますか？私の考える今年の漢字を発表します。ジャン。それは『挑（いどむ）』です。私が大宮中でずっと掲げている『優しさと挑戦』にもある『挑』です。

『挑』という漢字は、手へんに^{きざ}兆しと書きますね。この漢字の意味は『未来への変化の印（兆し）を、自らの手で変えようと立ち向かう姿を現す』と考えます。だから皆さんは、今年は意識して様々な事に挑む一年にしてほしい。ありたい自分の姿を実現するのは、ボーっと生きていても何も成し遂げられません。具体的に何に挑むか、ありたい自分、なりたい姿を目指して、目標を具体的に書いてみて挑戦する努力を続ける。皆さんがこの考えに共鳴して、充実した一年間にしてくれたら嬉しいです。

挑

昨年一年間、あのメジャーの大谷翔平選手には「凄いなあ」と、私たちは何度も唸られました。怪我やスランプといった目の前の高い壁に対して、普通は辛いと感じる努力を、成長して変わる自分を楽しむメンタル。大谷選手は自然体で『目標⇒計画⇒実行⇒振り返り』を楽しみながら、なりたい自分に誰よりも『挑』んでいます。大宮中の皆さんも、変われる自分を楽しみながら様々なことに挑み続けてほしい。私はそんなことを、この正月に考えました。もちろん、校長の私自身も気持ちを若々しく、様々なことに『挑む』一年にするつもりです。皆さんも、よかったら今年の漢字に『挑』むを掲げて、先生方と一緒に大宮中での生活を充実させてみませんか。仲間と共に成長し変化を楽しむ一年にしましょう。😊

令和4年度 杉並区教育調査 まとめ

昨年末に実施しました区調査へのご協力ありがとうございました。集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。肯定率の数値の顕著な項目については、今年度の成果と来年度の課題と考えて大宮中学校の教育改善に活かして参ります。

※上段はR3,下段はR4の数値で同一学年進行です。70%以上を緑数字、50%未満を赤数字で表示しました。

R3からR4の経年変化が+10%以上を ■、R3からR4の経年変化が-10%以下を ■ で表示しました。

また、各項目において、回答不能の割合が10%以上を ■ で表示しました。

No.	保護者に対する質問内容		1年	2年	3年	全校	回答不能
1	子どもの学校生活は、全体として満足できるものである。	R3	79%	61%	77%	72%	2%
		R4				74%	0%
2	連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている。	R3	26%	33%	50%	35%	14%
		R4				24%	16%
3	学校は、自校の教育活動に関する評価結果とそれに基づく改善策等の情報提供している。	R3	41%	39%	65%	47%	9%
		R4				50%	6%
4	学校では、子どもが安心・安全な学校生活を送ることができる学級づくりを行っている。	R3	59%	67%	88%	70%	3%
		R4				66%	2%
5	子どもは、学校で学ぶことにより、必要なときに、必要なことを、自ら学んで身に付けることができる力が育っている。	R3	56%	48%	62%	55%	2%
		R4				55%	3%
6	学校は、子どもの学習状況を適正に評価している。	R3	65%	52%	62%	59%	4%
		R4				58%	2%
7	学校は、ICT機器（電子黒板やデジタル教科書等）を活用した授業を行っている。	R3	76%	58%	73%	69%	6%
		R4				66%	5%
8	子どもは、学校での生活を通して、他者と共によりよく生きるための力が育まれている。	R3	65%	70%	73%	69%	2%
		R4				73%	0%
9	子どもは、学校での生活を通して、体力や食、生活習慣をはじめ健康な生活を送る力が育まれている。	R3	74%	73%	65%	71%	3%
		R4				73%	0%
10	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている。	R3	44%	27%	65%	44%	14%
		R4				45%	6%
11	学校は、子どもたちの発達に関する課題など、障害理解を深める情報を提供している。	R3	47%	48%	46%	47%	14%
		R4				39%	13%
12	子どもは、特別支援学校や特別支援学級の子ともと交流したり、一緒に活動したりする機会がある。	R3	38%	42%	58%	45%	14%
		R4				50%	15%
13	学校は、家庭や地域と連携・協力して教育活動を行っている。	R3	65%	48%	65%	59%	4%
		R4				58%	3%
14	（学校独自）学校は、様々な専門性をもつ人材が協力し、組織的に子どもたちの成長を支えてくれていると感じている。	R3	47%	33%	58%	47%	7%
		R4				52%	2%
15	（学校独自）学校は、障害など、参加に困難を抱えている子どもたちも、みんなと一緒に活動できる配慮や工夫をしている。	R3	53%	33%	65%	49%	15%
		R4				40%	15%
16	（学校独自）特色ある教育活動は、学校や地域に特有の課題解決を通じ、子どもたちの成長により効果をもたらしている。	R3	59%	39%	46%	49%	11%
		R4				53%	5%
17	（学校独自）義務教育9年間を通した一貫性のある教育（小中一貫教育）は、子どもたちの成長や発達により効果をもたらしている。	R3	32%	36%	38%	36%	19%
		R4				35%	19%
18	（学校独自）いじめや不登校などに対して、未然防止、早期発見、解決に向けて、教員が協力して取り組んでいる。	R3	21%	21%	58%	32%	15%
		R4				39%	11%
19	（学校独自）学校での生活を通して、子どもに、地震や火災など、様々な危険を予測し、回避する力が育まれていると感じている。	R3	59%	55%	54%	56%	5%
		R4				52%	3%

【保護者】杉並区全校で、インターネットを使った回答に変更し2年目になりました。その結果、期日までに34.4%（前年は55.7%程度の回収率）というさらに低い回答率となってしまいました。来年度は、保護者の回答率を上げる工夫を検討します。全般的な傾向として、昨年度から続くコロナ禍の下で学校公開が十分にできなかったことや、回答方法が変わったことも影響してか、各項目の肯定率の数値が下がっているのは残念です。No. 1の「子どもの学校生活に満足」がR3の72%からR4は74%と2ポイント上昇しましたが、決して高い数値ではありません。赤枠にあたる項目の改善を、教職員一同進めてまいります。また、保護者の回答不能の多い項目が複数ありました。学校の情報発信力を高めていきます。

No.	児童生徒に対する質問内容		1年	2年	3年	全校	回答 不能
1	先生は、クラスみんなが分かり合い協力し合えるようにしてくれている。	R3	89%	90%	82%	87%	1%
		R4	72%	75%	90%	79%	6%
2	授業では、学習を進める方法やペースを、自分で決めながら学んでいる。	R3	51%	53%	55%	53%	1%
		R4	66%	59%	70%	65%	3%
3	授業では、自分の得意なところを伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、個別に教えてくれている。	R3	43%	56%	48%	49%	3%
		R4	48%	50%	54%	51%	4%
4	授業では、自分の興味に基づいて問いや課題を立てて学んでいる。	R3	51%	44%	50%	48%	3%
		R4	50%	61%	46%	52%	4%
5	授業では、自分が必要なときに、必要な仲間と協力しながら学んでいる。	R3	79%	85%	73%	79%	2%
		R4	78%	66%	84%	76%	1%
6	学校の授業によって、分かることやできることが増えている。	R3	81%	85%	82%	83%	2%
		R4	82%	77%	88%	83%	1%
7	先生は、授業で自分ができたことを誉めてくれたり、間違えたところを教えてくれたりしている。	R3	85%	76%	70%	78%	3%
		R4	70%	77%	80%	76%	2%
8	先生は、授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している。	R3	92%	86%	84%	88%	3%
		R4	96%	98%	76%	90%	1%
9	先生は、今の授業で学習していることが、前の授業や今後の授業とどのようにつながっているか、教えてくれている。	R3	70%	80%	70%	74%	3%
		R4	66%	64%	64%	65%	4%
10	道徳の時間では、友達や家族、地域の人たち共によりよく生きることの大切さについて、みんなで話し合っている。	R3	79%	86%	68%	79%	2%
		R4	76%	70%	72%	73%	2%
11	先生は、健康な生活を送るために必要なことを教えてくれている。	R3	81%	80%	75%	79%	3%
		R4	70%	68%	76%	72%	1%
12	学校や家などで、一か月間に本、新聞、雑誌、調べものをするための資料などを読んだ。 ※この質問は、今年度に新設された項目です。	R3					
		R4	78%	61%	68%	69%	0%
13	地域の行事に参加している。	R3	32%	44%	64%	46%	5%
		R4	28%	30%	40%	33%	7%
14	先生は、地域の人たちと協力しながら、授業や学校行事をよりよくしてくれている。	R3	51%	59%	64%	58%	6%
		R4	40%	55%	54%	49%	8%
15	(学校独自) 友達や先生、家族のことなどで悩んだとき、学校に、相談できる大人(先生、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、地域の人など)がいる。	R3	74%	83%	64%	74%	4%
		R4	78%	82%	74%	78%	3%
16	(学校独自) 特別支援学級や自校外の障害のある同じ年くらいの子ともと交流する機会がある。	R3	42%	59%	45%	49%	6%
		R4	46%	57%	62%	55%	3%
17	(学校独自) 学校では、地震や火事など、様々な危険を予測し、避けるための知識や考え方について学んでいる。	R3	75%	78%	73%	76%	1%
		R4	76%	75%	82%	78%	1%
18	(学校独自) 学校行事の取り組みで、仲間との絆を深め、感動や達成感を得ることができた。	R3	79%	81%	80%	80%	4%
		R4	76%	80%	82%	79%	1%
19	(学校独自) 「自分を知る」「職業や上級学校について学ぶ」中で、自己の将来の夢や志を描くことができた。	R3	47%	54%	75%	58%	9%
		R4	48%	57%	58%	54%	6%

【生徒】生徒の質問用紙は、各学級の学活の時間に、保護者同様ペーパーではなくタブレット端末を利用して回答をしてもらいました。生徒の回答は、昨年度に比べて高低まちまちでしたが、大きく下がった項目は、「授業で得意なところを伸ばし、苦手なところを少なくしたり個別指導がある」と、No. 13の「地域の行事に参加している。」の二点でした。今後の課題として改善していきます。後の項目は高い肯定率である80%以上の緑色の項目が多くを占めたことは、前向きに受け止めています。

【全体】(保護者) NO.2連携する小・中学校による小中一貫教育(小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等)が進められている。24%、連携する小・中学校による小中一貫教育(小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等)が進められている。35%など小中連携について、今後の課題として改善していきます。また、保護者の『回答不能』つまり『分からない』が15%を超える質問が7項目ありました。学校からの情報発信と、学校公開時の保護者の方の参加を増やしていただくことが必要だと感じています。

海外留学報告会

深民宙男（3-B）

1

23（月）

皆さんこんにちは、3年B組の深民宙男です。僕は夏休みに、杉並区海外留学事業という事業の海外派遣生として選ばれ、オーストラリアに訪れました。今回はその概要に少しふれ、そこで何を学んだのかを発表します。

概要は、十日間の中でホストファミリーと過ごしたり、現地の学校を訪れたり、

個人・チーム研究について調べたりしました。現地訪問の前後で事前・事後学習なども行いました。

今回の派遣で学んだことは大きく3つあります。

1つ目は、簡単な英語だけでコミュニケーションが取れてしまうことです。単語をたくさん並べるだけでも相手に言いたいことが伝わりますし、それにジェスチャーを使えばオーストラリアで会話が通じなかったことはほとんどなかったんですよ。英語は、手振り身振り、表情と併用しないともったいないし、それだけでコミュニケーションがより楽しく、深いところまで行けます。僕は現地で、ホストファザーの作った夕食がステーキだったんですけど、そのステーキが「ソースとの相性がいい」と言いたかったのですが言えませんでした。何が言いたいかというと、英語を学ぶ意味は、最低限のコミュニケーションをとれるようにするためではなく、より深い会話をするためだと僕は感じました。

2つ目は、自国への理解が高かったことです。現地でホストファミリーと動物園に行ったんですけど、動物園にいるオーストラリアの動物について細かく述べていたり、現地の学校の僕のペアの人が町について詳細に述べていたりすると自国への理解がすごかったのです。

3つ目は、教育の違いです。オーストラリアでは、パーティ機のような大きな机に何人かが座っていて、生徒と先生が対話をするような授業でした。ある派遣生が、授業中に生徒が先生に話しかける回数を調

査していたのですが、日本よりもオーストラリアのほうが圧倒的に多かったのです。どっちが正解とかはないですが、オーストラリアの良い部分を日本はもっと真似すればいいのになと思いました。

ここで、僕が驚いた、「オーストラリアの水の値段クイズ!」「オーストラリアの水の値段はどのくらいするでしょうか。」

三択です。1、100円 2、300円 3、500円
正解は3の500円です。これは日本の円安の関係と、オーストラリアの水が貴重だからです。ほかにも驚いたことは、大きい飲み物のほうが小さいのよりも安いことです。これはリサイクルの関係で安くなっているそうです。

ちなみに自分は現地の公園や駅前で、海の環境問題についての意識の高さと、それに対して個人が具体的にやっている対策を、インタビューを通じて調査しました。海の環境問題についての意識は、なんと92%もある方面の回答をしていました。さらにどのような対策をしているか聞いたところ、3Rを意識する、プラスチックを使わない、ゴミがあったら拾う、魚を釣らないなどがあげられました。オーストラリアの海を二度訪れたのですが、ほんとに一つも海にゴミが落ちていなかったのは、一人ひとりの意識が高いからだと思います。



いろいろ述べましたが、結局、楽しさが勝ちます。1、2年生の方々も、この楽

しさを体感してほしいので、来年はぜひ挑戦してほしいです。これで発表を終わります。

急ぎのお知らせ

大宮中の特別支援教室『学びの教室』に、令和5年度二学期から入級を希望する現1、2学年のお子様のご家庭は、心理・知能検査等が必要となります。区特別支援教育課の検査を希望する場合、3月24日（金）修了式の日までに申請してください。期日に間に合うように学級担任にご相談ください。